

平成27年度
第1回うるま市補助金審査委員会における意見、評価のまとめ

日 時 平成27年7月31日（金）午後2時～午後5時30分

場 所 本庁 3階第1会議室

出席委員 佐藤 学（委員長）、福原 徹（副委員長）、仲地 一、渡久地 博之
玉栄 章宏、池原 トモ子、山城 栄子、園崎 香代子、川野 悦子（計9名）

事務局員 重島室長、瑞慶山係長、玉那覇、上江洲、名嘉眞、金城

担 当 課 商工観光課 宮城係長、目取真係長
長嶺、新垣
国民健康保険課 当間課長、石嶺係長
環境課 宇座課長、川端係長
障がい福祉課 神谷課長、山根係長

うるま市商工会補助金【商工観光課】

「うるま市商工会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

商工会活動の主である経営や技術改善などの相談及び指導を強化し会員支援をさらに充実させるためには、常に改善・改革を行う必要がある。

会員になる魅力を感じていないことが商工会加入率を伸ばせない要因として考えられるため、会員のための効果的な事業展開を図るとともに、企業としての社会的役割や地域連携の重要性を伝えていく必要がある。

自立運営に資する方策として、商工会自身が地域の特産品をうまく活用しながら、賑わい活力のある商工会になるよう、担当課は今後も指導・助言を継続していただきたい。

うるま市観光物産協会補助金【商工観光課】

「うるま市観光物産協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

現時点では、市からの補助金や受託事業にて運営している状況であるが、すぐに自立することは難しいと理解できる。

しかしながら、自主財源の増加は重要課題であることから、事業の費用対効果を検証し取捨選択やスリム化を図るとともに、財源確保に効果的な自主事業へ転換する必要もあると考える。市として将来を見据えた方針を打ち出し、継続して連携に努めていただきたい。

うるま市鍼灸・あんま・マッサージ補助金【国民健康保険課】

「うるま市鍼灸・あんま・マッサージ補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

医療費節減への効果を期待している事業であるが、対象者への周知が不足していることから改善が必要である。

また、事業を継続する上では、少なくとも3分の1の利用者からアンケートを徴取し、事業を行う効果等について検証に努めていただきたい。

中部北環境施設組合負担金【環境課】

「中部北環境施設組合負担金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

ごみ処理に係る義務的な経費であるため負担金の拠出は必要だが、市としても負担金を支出する上で、組合の予算内容を十分に把握するとともに、ごみの現状の実態掌握に努める必要がある。

現場の状況も知った上で、負担金の削減を目指すためには、データをとるなど家庭・地域・企業の環境意識がさらに高まるような取組が必要であると考えます。

担当課はごみ分別や生ごみ処理方法等の積極的な市民への周知啓蒙を図り、一層の市民協働によるごみ減量化に努めていただきたい。

うるま市身体障害者育成補助金【障がい福祉課】

「うるま市身体障害者育成補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

障がい者の自立及び社会進出を促していくためには、当該団体の役割は重要であり、補助の必要性は高いと考える。

ただし、当該団体の会費収入額を目標指標としているが、不相当だと思われる。団体が行う様々な活動への会員の参加率など、会員の自立や社会参加に繋がる目標指標の設定が適当ではないかと考える。

担当課は、会員の増加や活性化を促すとともに、団体の体制強化や補助金の適正な執行をしっかりと指導するよう努めていただきたい。